

フレクセラ・ソフトウェア
製品ダウンロード &
ライセンスガイド -
InstallAnywhere 2011 以降

法的情報

文書名： フレクセラ・ソフトウェア製品ダウンロード & ライセンス ガイド - InstallAnywhere
2011 以降
商品番号： ISA-1500-LG00
製品のリリース日： 2013 年 10 月

著作権情報

Copyright © 2014 Flexera Software LLC. All Rights Reserved.

この製品には、Flexera Software LLC およびそのライセンサーによって所有されている権利、機密技術、情報、創造的な製作物が含まれています。本技術の一部または全部を、Flexera Software LLC からの事前の書面による明示的許可なしに、使用、複製、出版、配布、表示、改変または転載することはいかなる形態または手段を問わず厳重に禁止いたします。Flexera Software LLC によって書面で明示されている場合を除き、この技術の所有は、禁反言、黙示などによっても、Flexera Software LLC が所有するいかなる知的財産権の下、ライセンスまたは権利を一切付与するものではありません。

本技術およびそれに関する情報のすべての複製は、Flexera Software LLC より許可されている場合に限り、著作権および所有権に関する通知を完全な形で表示しなければなりません。

知的財産

フレクセラ・ソフトウェアが所有する商標および特許の一覧は、<http://www.flexerasoftware.com/intellectual-property> を参照してください。フレクセラ・ソフトウェア製品、製品ドキュメント、およびマーケティング資料で言及されているその他すべてのブランドおよび製品名は、各社の商標または登録商標です。

(米国内向け) 制限付権利に関する表示

本ソフトウェアは商業用コンピュータソフトウェアです。本ソフトウェアのユーザーまたはライセンス許可対象者が米国政府の代理、部署、その他の関連機関の場合、ソフトウェアまたは技術データおよびマニュアルを含むすべての関連文書の使用、複写、複製、開示、変更、公開、または譲渡に関して、ライセンス契約または本契約の条項ならびに民生機関については連邦調達規則第 12.212 条または軍事機関については国防連邦調達規則補遺第 227.7202 条による制限が適用されます。本ソフトウェアは完全に自費で開発されたものです。その他一切の使用は禁止されています。

目次

1	InstallAnywhere のダウンロードおよびライセンシングについて	5
	InstallAnywhere、サービスパック、その他のインストールをダウンロードする	7
	InstallAnywhere のライセンスについて	8
	InstallAnywhere のノードロック ライセンスの構成	9
	InstallAnywhere の同時接続ライセンスの設定	14
	InstallAnywhere の同時接続ライセンスについての背景情報	14
	ライセンス サーバーのホスト ID を判別する	16
	新しい同時接続ライセンス サーバーを設定する	16
	FlexNet Licensing Server ソフトウェアを取得して、ライセンス サーバー上にインストールする	17
	新しい FlexNet Licensing Server 用の同時接続ライセンス ファイルの取得	17
	既存ライセンス サーバー用の同時接続ライセンスを取得する	19
	既存ライセンス サーバー用の新しい同時接続ライセンスを生成する	19
	既存 FlexNet Licensing Server 用のアップグレード同時接続ライセンスを生成する	21
	FlexNet Licensing Server に同時接続ライセンス ファイルを追加する	22
	FlexNet Licensing Server で License Server Manager (lmadmin) を使用して同時接続ライセンスをインポートおよび関連タスクを実行する	22
	FlexNet Licensing Server 上のライセンス サーバー マネージャー (lmgrd) を使って同時接続ライセンスを選択する	32
	ユーザーのマシンをライセンス サーバーに接続して、または InstallAnywhere ライセンスのチェックイン / チェックアウトを行う	33

InstallAnywhere のダウンロードおよびライセンスについて

このドキュメントでは、InstallAnywhere 2011 以降で使用できる異なるライセンス モデルについての背景情報が説明されています。また、様々なタスクの手順も記述されています：

- InstallAnywhere のインストールを取得する
- InstallAnywhere のライセンスの設定

ライセンスのオプション

InstallAnywhere では、2 つの異なるライセンス モデルが提供されています：

- **ノードロック ライセンス** – このモデルでは、製品ライセンスは特定のユーザーとマシンに固定されています。このモデルは従来型のオプションで、最も頻繁に購入されています。

InstallAnywhere のノードロック ライセンスの場合、InstallAnywhere をインストールするマシン用にフレクセラ・ソフトウェアが生成するライセンス ファイルが必要です。

ノードロック ライセンスを使用している場合、マシンに保存されている個人のライセンスは、ユーザーの責任で管理してください。複数のユーザー間でこの種類のライセンスを共有することは、フレクセラ・ソフトウェア製品のエンドユーザー使用許諾契約書 (EULA) に違反します。

- **同時接続ライセンス** – このモデルを使用すると、InstallAnywhere のライセンスを複数のユーザーと共有することができます。このモデルは、**浮動ライセンス**とも呼ばれます。同時接続ライセンスは、従来型のノードロック ライセンスに比べて、より高い柔軟性と費用対効果を提供します。

お客様の組織がフレクセラ・ソフトウェア製品の同時接続ライセンスをご購入された場合、使用中のライセンス サーバーに製品を接続する必要があります。この後、フレクセラ・ソフトウェア製品を自分のマシンで起動するたびに、必要なライセンスが使用可能であることがサーバーでクエリされます。ライセンスが使用可能な場合、フレクセラ・ソフトウェア製品へのアクセスが許可されます。

どちらの InstallAnywhere ライセンス モデルにもアクティベーションは不要です。

両方のライセンス モデルで、フレクセラ・ソフトウェアによって生成されるライセンス ファイルが必要です：

- ・ ノードロック モデルの場合、ライセンス ファイルは InstallAnywhere が搭載されたマシンのホスト ID (ネットワーク インターフェイス カードのイーサネット /MAC アドレス) に基づいて生成されます。
- ・ 同時接続ライセンス モデルの場合、ライセンス ファイルはライセンス サーバーのホスト ID (ネットワーク インターフェイス カードのイーサネット /MAC アドレス) に基づいて生成されます。このライセンス ファイルは、FlexNet Licensing Server ソフトウェアと共に同時接続ライセンスを管理するマシンであるライセンス サーバーにインストールしなくてはなりません。

FlexNet Licensing Server ソフトウェアは、フレクセラ・ソフトウェアから無料でダウンロードできます。これを使って、任意の FlexEnabled 製品のライセンスを管理できます。

フレクセラ・ソフトウェア製品 & ライセンス センターから InstallAnywhere ライセンス ファイルを取得できます。取得方法については、このガイドを参照してください。

InstallAnywhere、サービスパック、その他のインストールをダウンロードする

次のインストールは、フレクセラ・ソフトウェア製品 & ライセンス センターからダウンロード可能です：

- InstallAnywhere
- InstallAnywhere サービス パック（使用可能な場合）
- FlexNet Licensing Server ソフトウェア（同時接続ライセンスを購入した場合で、組織のライセンス サーバーを設定する必要がある場合）



Note · InstallAnywhere をご購入の際、フレクセラ・ソフトウェア製品 & ライセンス センターにお客様の組織専用のアカウントが作成されます。製品 & ライセンス センターのアカウントにご購入者のユーザー アカウントが追加されると共に、ご購入者宛てにサインイン情報が記載されたウェルカム メッセージが電子メールで送信されます。お客様が製品のご購入担当者である場合、ウェルカム メッセージに記載されているサインイン情報を使って製品 & ライセンス センターにサインインできます。お客様がご購入担当者ではなく、まだユーザー アカウントが追加されていない場合は、[\[新しいアカウントに参加\] ページ \(https://flexerasoftware.flexnetoperations.com/control/inst/registertoaccount\)](https://flexerasoftware.flexnetoperations.com/control/inst/registertoaccount) にアクセスして、組織のアカウント ID を入力してください（アカウント ID は、オーダー確認メールに記載されています）。



Task:

インストールをダウンロードする方法：

1. [製品 & ライセンス センター \(https://flexerasoftware.flexnetoperations.com/\)](https://flexerasoftware.flexnetoperations.com/) にサインインする。
2. 左側のナビゲーション内で、[\[エンタイトルメント\]](#) の下にある [\[製品リスト\]](#) をクリックします。
[\[製品リスト\]](#) ページには、お客様のアカウントで使用できる製品ラインのすべてが表示されます。複数の製品へのアクセスがない場合は、[\[製品リスト\]](#) リンクをクリックすると、[\[製品情報\]](#) ページが直接開きます。
3. [\[製品リスト\]](#) ページに複数の製品が表示された場合、InstallAnywhere リンクをクリックします。[\[製品情報\]](#) ページが開きます。
4. [\[製品とファイルのダウンロード\]](#) 列で、ダウンロードするバージョンの InstallAnywhere リンクをクリックします。[\[製品のダウンロード\]](#) ページが開きます。
5. 適切なダウンロード ボタンをクリックします。

インストールのダウンロードが完了した後、製品を使用するマシン上でインストールを実行します。

InstallAnywhere のライセンスについて

次の表は、ご購入頂いたライセンスの種類別に、その設定方法を説明します。

Table 1-1・ライセンスの種類

ライセンスの種類	ライセンスの種類の説明	手順
InstallAnywhere のノードロック ライセンス	この種類のライセンスは、特定のユーザーとマシンに関連付けられています。InstallAnywhere のノードロック ライセンスの場合、InstallAnywhere をインストールするマシン用にフレクセラ・ソフトウェアが生成するライセンス ファイルが必要です。	手順については、「 InstallAnywhere のノードロック ライセンスの構成 」を参照してください。
InstallAnywhere の同時接続ライセンス	この種類のライセンスを使用すると、同時に最大数のユーザー間でライセンスを浮動または共有することができます。各ユーザーのマシン上にインストールされた製品を、組織内で設定されたライセンス サーバーに接続する必要があります。ライセンス サーバーには、フレクセラ・ソフトウェアが生成するライセンス ファイルが必要です。	新しいまたは既存のライセンス サーバーを設定する手順は、「 InstallAnywhere の同時接続ライセンスの設定 」を参照してください。 ライセンス サーバーに同時接続ライセンスを追加するには、「 FlexNet Licensing Server に同時接続ライセンス ファイルを追加する 」を参照してください。 製品がインストールされたマシンをライセンス サーバーに接続する手順は、「 ユーザーのマシンをライセンス サーバーに接続して、または InstallAnywhere ライセンスのチェックイン / チェックアウトを行う 」を参照してください。

InstallAnywhere のノードロック ライセンスの構成

InstallAnywhere のノードロック ライセンスを購入し、InstallAnywhere インストールを取得して製品をインストールした後、ノードロック ライセンスを構成することができます。InstallAnywhere のノードロック ライセンスを構成するためには、製品 & ライセンス センターからライセンス ファイル (.lic) を取得しなくてはなりません。次に、ノードロック ライセンスの取得および構成方法を説明します。



Note Linux Standard Base (LSB) 3 に準拠していない Linux システム上で InstallAnywhere を使用する場合、手動でシンボリック リンクを作成する必要があるかもしれません。

Linux システムに InstallAnywhere をインストールするとき、同じ名前を持つリンクが既存しない場合、インストールはデフォルトの Linux ローダー (/lib/ld-linux.so.2) へのシンボリック リンクを作成しようとします。シンボリック リンクはライセンス ウィザードの [ホスト ID] ダイアログ上に表示されるホスト ID に必要で、ノードロック ライセンスにも不可欠です。(ノードロック ライセンス ファイルを生成するとき、InstallAnywhere がインストールされているマシンのホスト ID を入力する必要があります。) リンクは LSB 準拠システムに存在しますが、LSB に準拠していないシステム上では存在しない可能性があります。インストールがアクセス許可を持たないためにシンボリック リンクを作成できなかった場合、これを手動で作成することができます。

手動でシンボリック リンクを作成するには、以下の手順に従います：

1. ルートにログインします。
2. 以下のコマンドを実行します：

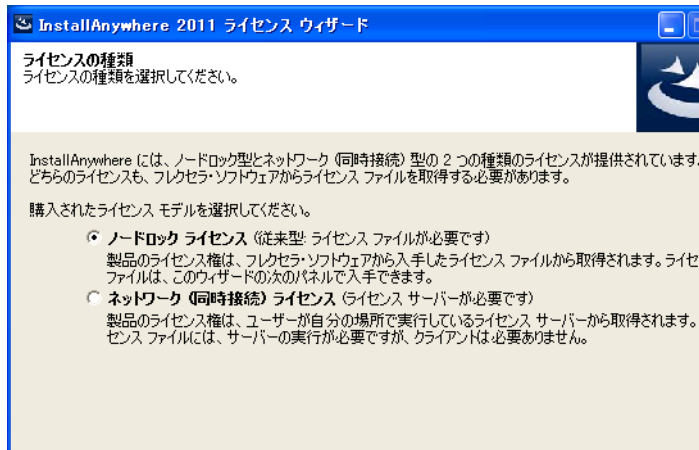
```
ln -s /lib/ld-linux.so.2 /lib/ld-lsb.so.3
```



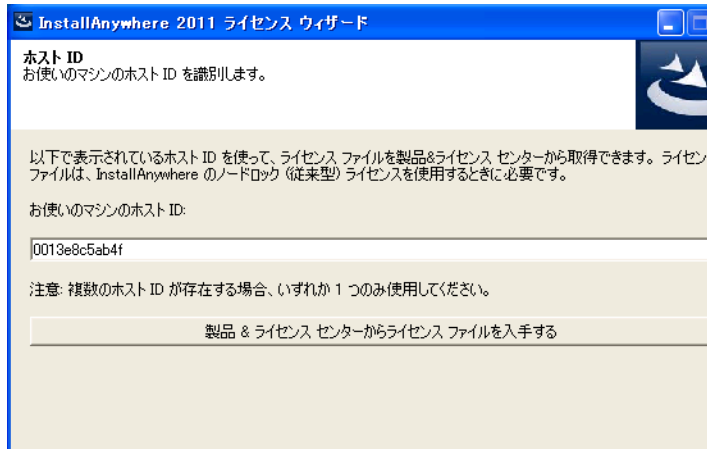
Task: ノードロック ライセンス ファイル (.lic) を取得および構成するには、以下の手順に従います：

1. InstallAnywhere を起動します。製品が起動する前に、ライセンス ウィザードが開きます。
2. [ライセンス情報を指定する] オプションを選択してから、[次へ] ボタンをクリックします。

3. [ライセンスの種類] ダイアログで [ノードロック ライセンス] オプションを選択します。



4. [ホスト ID] ダイアログで、[製品 & ライセンス センターからライセンス ファイルを取得する] ボタンをクリックします。



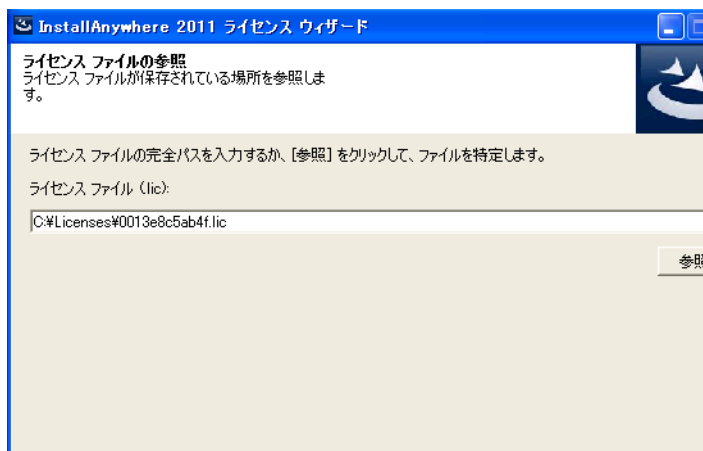
このボタンをクリックすると、Web ブラウザーで製品 & ライセンス センターが開きます。製品 & ライセンス センターにサインインします。



Tip · InstallAnywhere をインストールするマシンがインターネットに接続されていない場合は、インターネットに接続されているマシンから **製品 & ライセンス センター** (<https://flexerasoftware.flexnetoperations.com/>) にサインインしてください。

5. 製品 & ライセンス センターで、InstallAnywhere をインストールする特定のマシン用のライセンス ファイルを取得します：
 - a. 左側のナビゲーション内で、[エンタイトルメント]の下にある[製品リスト]をクリックします。

[製品リスト] ページには、お客様のアカウントで使用できる製品ラインのすべてが表示されます。複数の製品へのアクセスがない場合は、[製品リスト] リンクをクリックすると、[製品情報] ページが直接開きます。
 - b. [製品リスト] ページに複数の製品が表示された場合、InstallAnywhere リンクをクリックします。[製品情報] ページが開きます。
 - c. インストールならびに構成を行う製品の[ライセンス] リンクをクリックします。[ライセンス情報] ページが開きます。このページには、製品の使用中および未使用のライセンスについての詳細が表示されます。
 - d. リストから未使用のライセンスを見つけて、そのライセンス属する[製品に有効なライセンス] オプションを選択します。
 - e. ページの下にある[生成] ボタンをクリックします。[ライセンスの生成] ページが開きます。
 - f. そのライセンスの[ノード ホスト ID] ボックスに、InstallAnywhere をインストールする特定のマシン固有のホスト ID を入力します。ホスト ID は、InstallAnywhere インストール中に[ホスト ID] ダイアログに表示されます。
 - g. [生成] ボタンをクリックします。[ライセンスの表示] ページが開きます。
 - h. [すべて保存] ボタンをクリックします。製品 & ライセンス センターに、ライセンス ファイルをダウンロードする場所を指定できるダイアログ ボックスが表示されます。
 - i. InstallAnywhere をインストールするマシンがアクセスできる場所を指定します。製品 & ライセンス センターによって、指定された場所に .lic ファイル (複数可) がダウンロードされます。このファイル名は *HostID.lic* で、*HostID* 部分には、.lic ファイルを取得したときに指定したホスト ID が入ります。管理し易くするために、このファイル名を変更することもできます。
6. InstallAnywhere ライセンス ウィザードの[ホスト ID] ダイアログに戻って、[次へ] ボタンをクリックします。[ライセンス ファイルの参照] ダイアログが開きます。



7. [ライセンス ファイル (.lic)] ボックスに、マシンで使用する .lic ファイルへのパスを入力するか、[参照] ボタンをクリックして、そのファイルに移動します。
8. インストールの残りのウィザード ダイアログを完了します。

ウィザードは、指定された .lic ファイルを InstallAnywhere フォルダにコピーして、License.lic と名づけます。

64 ビット Linux マシン上で InstallAnywhere の 64 ビット バージョン用のライセンス ファイルを指定する

64 ビット Linux マシン上で InstallAnywhere の 64 ビット バージョンを使用している場合、.lic ファイルの正しいパスを指定しているにもかかわらずエラーが発生する場合があります：



デバッグ ログ ファイルに次のエラーが書き込まれます (console.txt):

```
IAEE バージョン = 12.0 をチェックアウトしようとしています  
ネイティブ Hostid のライブラリをロードできません (-521,7024)  
IAEB バージョン = 12.0 をチェックアウトしようとしています  
ネイティブ Hostid のライブラリをロードできません (-521,7024)
```

この問題を解決する方法については、ナレッジベース記事「[Q214129: Unable To License 64 Bit Version Of InstallAnywhere 2011 Using A Node Locked License File On 64 Bit Linux Operating Systems](http://support.installshield.com/kb/view.asp?articleid=Q214129) (http://support.installshield.com/kb/view.asp?articleid=Q214129)」を参照してください。

コマンドライン パラメーターを Build.exe に渡してノードロック ライセンス情報を指定する

製品版の InstallAnywhere 製品または build.exe のライセンスを構成しないで build.exe を使ってインストールをビルドすると、build.exe は制限された日数の間、評価モードで実行し、評価版インストールを作成します。

コマンドラインを使って build.exe を起動するとき、以下のように build.exe に `-registerNodeLocked` パラメーターを渡して、ノードロック ライセンス情報を構成することができます。

```
build.exe -registerNodeLocked LicenseFilePathAndName
```

LicenseFilePathAndName は、ライセンス ファイル (.lic) のファイル名とパスを示します。

ノードロック ライセンス情報を指定した同じユーザー アカウントを使ってビルドを実行するときにはいつでもインストールをビルドすることができます。ライセンス情報は、InstallAnywhere 製品版のライセンス ウィザードを使って、または build.exe のコマンドラインを通して一度だけ指定する必要があります。

マシンのホスト ID を確認するには、以下のコマンドを使用してください：

```
build.exe -generateHostID
```

たとえばライセンスを別のマシンに移動する場合に、マシンからライセンス情報をクリアするには、以下のコマンドを使用します：

```
build.exe -unregister
```

InstallAnywhere の同時接続ライセンスの設定

お客様の組織が InstallAnywhere の同時接続ライセンスをご購入された場合、お客様の環境で設定されている FlexNet Licensing Server によって、同時に実行可能な製品のインスタンス数が管理されます。これらの製品の 1 つを起動する各ユーザーは、ライセンス サーバーとの接続を確立して、必要なときにライセンスをチェックインまたはチェックアウトする必要があります。

InstallAnywhere の同時接続ライセンスについての背景情報

組織内のユーザーによって製品が起動されるたびに行われるプロセスを、以下に説明します。

1. ユーザーが製品を起動する。
2. ユーザーのマシン上の FlexEnabled コードが、FlexNet Licensing Server との接続を確立して、ライセンスを要求する。
3. FlexNet Licensing Server が、ライセンスが使用可能かどうかをチェックする。ライセンスが使用可能な場合、FlexNet Licensing Server がそれをチェックアウトします。また、サーバーがユーザーのマシンにメッセージを送信します。このメッセージによって、製品の実行が許可されます。
4. ユーザーのマシン上の FlexEnabled コードがメッセージを受信して製品を開く。

ユーザーが製品を終了したとき、ユーザーのマシン上の FlexEnabled コードが FlexNet Licensing Server にメッセージを送信して、ライセンスがチェックインされます。これによって、別のマシン上でこのライセンスが使用できるようになります。

FlexNet Licensing Server のコンポーネント

FlexNet Licensing Server は、以下のコンポーネントで構成されます。

Table 1-2 · FlexNet Licensing Server のコンポーネント

コンポーネント	説明
FlexEnabled 製品	FlexEnabled 製品とは、FlexNet Publisher Licensing Toolkit を使ってそのライセンス モデルを実装する製品です。InstallShield、AdminStudio、および InstallAnywhere はすべて FlexEnabled 製品です。これらの FlexEnabled 製品は、FlexNet Licensing Server と通信して、必要に応じてライセンスを要求します。
ライセンス ファイル	ライセンス ファイル (.oic) は、ライセンス証明書を含むテキスト ファイルです。このファイルには、サーバー マシンおよびベンダー デーモンに関する情報が含まれています。また、ご購入済みの同時接続ライセンスの数に関するデータも含まれています。

Table 1-2 · FlexNet Licensing Server のコンポーネント (続き)

コンポーネント	説明
License Server Manager	<p>FlexNet Licensing Server 上のライセンス サーバー マネージャーは、FlexEnabled 製品との最初の通信を処理して、接続をベンダー デーモンに渡します。ライセンス サーバー マネージャーは、ライセンス権利を提供するためのベンダー デーモンを開始および管理します。</p> <p>ライセンス サーバー マネージャーには、2 種類あります：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Imadmin - 最新バージョンのライセンス サーバー マネージャー。このバージョンは、グラフィック ユーザー インターフェイスを使用します。 ・ Imgrd - オリジナル バージョンのライセンス ラーバー マネージャー。このバージョンは、コマンドライン インターフェイスを使用します。
ベンダー デーモン	<p>ベンダー デーモンは、FlexEnabled 製品を開発したベンダーと関連付けられたファイルです。FlexNet Licensing Server を使って InstallShield、AdminStudio、InstallAnywhere、および他のベンダーが開発した FlexEnabled 製品のライセンスを管理する場合、FlexNet Licensing Server は、フレクセラ・ソフトウェアのベンダー デーモン 1 つと、その他の各ベンダーにつき 1 つのベンダー デーモンを取り扱います。</p> <p>ベンダー デーモンは、FLEXEnabled 製品と FlexNet Licensing Server 間の通信を処理して、チェックアウトされているライセンスの数、およびその使用者を追跡管理します。</p>

FlexNet Licensing Server のコンポーネントに関して、以下の点にご注意ください：

- ・ **TCP/IP を通して通信** - InstallShield、AdminStudio、および InstallAnywhere は、TCP/IP ネットワーク通信を介してベンダー デーモンとの通信を行います。製品およびデーモンのプロセスは、ネットワーク上の別々のマシン上で実行することができ、ワイドエリア ネットワークのサイズは問いません。
- ・ **マシン非依存型の通信** - フレクセラ・ソフトウェア製品と FlexNet Licensing Server 間におけるトラフィックのフォーマットはマシンに依存しないため、異種ネットワークを使用できます。このため、FlexNet Licensing Server マシンとフレクセラ・ソフトウェア製品を実行するマシンには、異なるハードウェア プラットフォーム、または異なるオペレーティング システムを使用することができます (たとえば、UNIX と Windows)。
- ・ **ベンダーデーモン強制終了のシナリオ** - ベンダーデーモンが何らかの理由で強制終了する場合、すべてのユーザーは、そのライセンスを失います (アプリケーションが突然停止することはありません)。ユーザーは通常、ライセンス サーバー マネージャーがベンダー デーモンを再開したときに自動的にライセンスを再取得しますが、ベンダー デーモンの使用不可能な状態が長引くと、製品が終了する場合があります。

ライセンス サーバーのホスト ID を判別する

ライセンス サーバー用のライセンス ファイルを取得する前に、ライセンス サーバーのホスト ID (つまり、ネットワーク インターフェイス カードの Ethernet/MAC アドレス) を判別する必要があります。

次のツールをダウンロードして Windows ベースのシステム上で起動する方法で、ホスト ID を判断することができます：

[FlexNetHostIDExe.exe \(http://saturn.installshield.com/product/is/FLEXnetLicenseServer/FlexNetHostIDExe.exe\)](http://saturn.installshield.com/product/is/FLEXnetLicenseServer/FlexNetHostIDExe.exe)

別の方法として、Windows ベースまたは Windows ベース以外のシステムでは、Imutil を使って使用中のマシンのホスト ID を判別することができます。Imutil を取得する方法については、「[InstallAnywhere、サービスパック、その他のインストールをダウンロードする](#)」を参照してください。

次の表には、様々なプラットフォーム上でホスト ID を取得するために使用可能なコマンドがリストされています。

Table 1-3・様々なプラットフォーム上でホスト ID を判別する

オペレーティング システム：	ホスト ID を取得するためのコマンド	サンプル ホスト ID
Linux	Imutil Imhostid -ether	00400516E525
Solaris	Imutil Imhostid -ether	00400516E525
Windows	Imutil Imhostid	00B0A9DF9A32

同時接続ライセンス ファイルを取得するときに確認できるよう、ホスト ID を書き留めておいてください。

新しい同時接続ライセンス サーバーを設定する

新しい同時接続ライセンス環境を設定して、InstallAnywhere の同時接続ライセンスを管理する場合、FlexNet Licensing Server ソフトウェアをダウンロードおよびインストールして、ライセンス ファイルを取得する必要があります。このセクションでは、以下の手順を説明します：

- ・ [FlexNet Licensing Server ソフトウェアを取得して、ライセンス サーバー上にインストールする](#)
- ・ [新しい FlexNet Licensing Server 用の同時接続ライセンス ファイルの取得](#)

既存の FlexNet Licensing Server を使って同時接続ライセンスを管理する場合、ライセンス ファイルを取得する必要があります。詳細については、「[既存ライセンス サーバー用の同時接続ライセンスを取得する](#)」を参照してください。

FlexNet Licensing Server ソフトウェアを取得して、ライセンス サーバー上にインストールする

FlexNet Licensing Server ソフトウェアは、同時接続ライセンスを保有するユーザーからのライセンス チェックアウトおよびチェックイン要求を管理します。このソフトウェアを同時接続ライセンス サーバーとして指定するマシン上にインストールできます。このインストールは、InstallAnywhere の同時接続ライセンスをご購入いただいた場合のみ必要です。ソフトウェアは、InstallAnywhere の現在のバージョンと以前のバージョンのライセンスを管理するためのサポートを含みます。

InstallAnywhere インストールと共に、異なるプラットフォーム固有の FlexNet Licensing Server インストールを製品 & ライセンス センターからダウンロードすることができます。ダウンロード ファイルを取得する方法については、「[InstallAnywhere、サービスパック、その他のインストールをダウンロードする](#)」を参照してください。

FlexNet Licensing Server ソフトウェアをインストールするには、これを起動します。

FlexNet Licensing Server ソフトウェアをインストールする際のヒント

同時接続ライセンス サーバーとして使用するマシンに FlexNet Licensing Server ソフトウェアをインストールするとき、次の事項にご留意ください：

- ・ インストール ウィザードで、HTTP ポート番号およびライセンス サーバー ポート番号として適切なポート番号を入力してください。
 - ・ HTTP ポート番号は、どのライセンスがどのマシンによって使用中であるかを監視するための Web サーバーをホストするために使用されます。
 - ・ ライセンス サーバー ポート番号は、FlexNet Licensing Server 上のベンダー デーモンと FlexNet Enabled 製品 (InstallAnywhere など) との間の通信で使用されます。
- ・ Windows ベースのライセンス サーバー システムの場合：高レベルな稼動状態を保つため、FlexNet License Server Manager を Windows サービスとして実行することが推奨されます。Windows サービスとして実行されている場合、FlexNet Licensing Server マシンが再起動する必要があるときに、サービスも再開されます。このため、FlexNet Licensing Server を再び使用可能な状態にするために、ライセンスをチェックアウトしようとするユーザーまたはマシンが、手動で操作を行う必要がありません。

新しい FlexNet Licensing Server 用の同時接続ライセンス ファイルの取得

FlexNet Licensing Server ソフトウェアを取得したら、ライセンス サーバーとして使用するマシン上にこのソフトウェアをインストールした後、FlexNet Licensing Server を構成できます。InstallAnywhere の同時接続ライセンスを管理するための FlexNet Licensing Server を構成するためには、製品 & ライセンス センターからライセンス ファイル (.lic) を取得しなくてはなりません。



Task: *同時接続ライセンス ファイル (.lic) を取得するには、以下の手順に従います：*

1. **製品 & ライセンス センター** (<https://flexerasoftware.flexnetoperations.com/>) にサインインする。

2. 製品 & ライセンス センターで、FlexNet Licensing Server をインストールする特定のマシン用のライセンス ファイルを取得します：
 - a. 左側のナビゲーション内で、[エンタイトルメント]の下にある[製品リスト]をクリックします。

[製品リスト]ページには、お客様のアカウントで使用できる製品ラインのすべてが表示されます。複数の製品へのアクセスがない場合は、[製品リスト]リンクをクリックすると、[製品情報]ページが直接開きます。
 - b. [製品リスト]ページに複数の製品が表示された場合、InstallAnywhere リンクをクリックします。[製品情報]ページが開きます。
 - c. インストールならびに構成を行う製品の[ライセンス]リンクをクリックします。[ライセンス情報]ページが開きます。このページには、製品の使用中および未使用のライセンスについての詳細が表示されます。
 - d. リストから未使用のライセンスを見つけて、そのライセンス属する[製品に有効なライセンス]オプションを選択します。
 - e. ページの下にある[生成]ボタンをクリックします。[ライセンスの生成]ページが開きます。
 - f. [生成するライセンスの数]ボックスに、FlexNet Licensing Server で管理できるように許可するライセンスの数を入力します。
 - g. [サーバー ホスト ID]ボックスに、FlexNet Licensing Server をインストールする特定のマシン固有のホスト ID を入力します。この設定でダッシュは使用できません。

ホスト ID を判別する手順については、「[ライセンス サーバーのホスト ID を判別する](#)」を参照してください。
 - h. 冗長ライセンスング サーバー クラスターを構成する場合、必要に応じてその他の設定を行います。
 - i. [生成]ボタンをクリックします。[ライセンスの表示]ページが開きます。このページには、製品 & ライセンス センターが FlexNet Licensing Server のライセンス ファイルを作成するために使用する情報が表示されます。
 - j. [すべて保存]ボタンをクリックします。製品 & ライセンス センターに、ライセンス ファイルをダウンロードする場所を指定できるダイアログ ボックスが表示されます。
 - k. InstallAnywhere をインストールするマシンが常にアクセス可能な場所を指定します。

製品 & ライセンス センターによって、指定された場所に .lic ファイルがダウンロードされます。このファイル名は *HostID.lic* で、*HostID* 部分には、.lic ファイルを取得したときに指定したホスト ID が入ります。管理し易くするために、このファイル名を変更することもできます。

同時接続ライセンス ファイルを取得した後、FlexNet Licensing Server にこれを追加します。手順については、「[FlexNet Licensing Server に同時接続ライセンス ファイルを追加する](#)」を参照してください。

既存ライセンス サーバー用の同時接続ライセンスを取得する

既存する FlexNet Licensing Server を使って同時接続ライセンスを管理する場合、同時接続ライセンス ファイルを取得する必要がありますが、FlexNet Licensing Server ソフトウェアをインストールする必要はありません。

既存ライセンス サーバー用に製品 & ライセンス センターからライセンス ファイルを取得する手順は、標準の同時接続ファイルを購入している場合と、アップグレード同時接続ライセンスを購入している場合によって多少異なります。

- 標準の同時接続ライセンス ファイルを使うと、InstallAnywhere の単一バージョンの同時接続ライセンスを管理できます。

この種類のライセンス ファイルを取得する手順については、「[既存ライセンス サーバー用の新しい同時接続ライセンスを生成する](#)」を参照してください。

- アップグレード用の同時接続ライセンス ファイルを使うと、以前に購入済みの InstallAnywhere バージョンと同時に、新しい バージョンの同時接続ライセンス ファイルを管理できます。アップグレード同時接続ライセンス ファイルは、追加ライセンスを提供するのではなく、既存ファイルに含まれているライセンスをアップグレードする点にご注意ください。

この種類のライセンス ファイルを取得する手順については、「[既存 FlexNet Licensing Server 用のアップグレード同時接続ライセンスを生成する](#)」を参照してください。

既存ライセンス サーバー用の新しい同時接続ライセンスを生成する

標準の同時接続ライセンス ファイルを使うと、InstallAnywhere の単一バージョンの同時接続ライセンスを管理できません。製品 & ライセンス センターで、FlexNet Licensing Server ソフトウェアを使用する特定のマシン用のライセンス ファイルを取得します。



Task: [単一バージョンの InstallAnywhere 用の同時接続ライセンスを管理するための標準の同時接続ライセンス ファイル \(.lic\) を取得するには、以下の手順に従います:](#)

- 製品 & ライセンス センター (<https://flexerasoftware.flexnetoperations.com/>) にサインインする。
- 製品 & ライセンス センターで、FlexNet Licensing Server をインストールする特定のマシン用のライセンス ファイルを取得します:
 - 左側のナビゲーション内で、[エンタイトルメント] の下にある [製品リスト] をクリックします。
[製品リスト] ページには、お客様のアカウントで使用できる製品ラインのすべてが表示されます。複数の製品へのアクセスがない場合は、[製品リスト] リンクをクリックすると、[製品情報] ページが直接開きます。
 - [製品リスト] ページに複数の製品が表示された場合、InstallAnywhere リンクをクリックします。[製品情報] ページが開きます。
 - インストールならびに構成を行う製品の [ライセンス] リンクをクリックします。[ライセンス情報] ページが開きます。このページには、製品の使用中および未使用のライセンスについての詳細が表示されます。

- d. リストから未使用のライセンスを見つけて、そのライセンス属する [製品に有効なライセンス] オプションを選択します。
- e. ページの下にある [生成] ボタンをクリックします。[ライセンスの生成] ページが開きます。
- f. [生成するライセンスの数] ボックスに、FlexNet Licensing Server で管理できるように許可するライセンスの数を入力します。
- g. [既存のライセンス ホスト] リストで、適切なオプションを選択します。この同時接続ライセンス用に既存サーバーが構成されている場合、それらがこのボックスに表示されます。
- h. 冗長ライセンスング サーバー クラスターを構成する場合、必要に応じてその他の設定を行います。
- i. [生成] ボタンをクリックします。[ライセンスの表示] ページが開きます。このページには、製品 & ライセンス センターが FlexNet Licensing Server のライセンス ファイルを作成するために使用する情報が表示されます。
- j. [すべて保存] ボタンをクリックします。製品 & ライセンス センターに、ライセンス ファイルをダウンロードする場所を指定できるダイアログ ボックスが表示されます。
- k. InstallAnywhere をインストールするマシンが常にアクセス可能な場所を指定します。製品 & ライセンス センターによって、指定された場所に .lic ファイルがダウンロードされます。このファイル名は *HostID.lic* で、*HostID* 部分には、.lic ファイルを取得したときに指定したホスト ID が入ります。管理し易くするために、このファイル名を変更することもできます。

同時接続ライセンス ファイルを取得した後、FlexNet Licensing Server にこれを追加します。手順については、「[FlexNet Licensing Server に同時接続ライセンス ファイルを追加する](#)」を参照してください。

既存 FlexNet Licensing Server 用のアップグレード同時接続ライセンスを生成する

アップグレード用の同時接続ライセンス ファイルを使うと、以前に購入済みの InstallAnywhere バージョンと同時に、新しい バージョンの同時接続ライセンス ファイルを管理できます。アップグレード同時接続ライセンス ファイルは、追加ライセンスを提供するのではなく、既存ファイルに含まれているライセンスをアップグレードする点にご注意ください。



Task:

複数バージョンの InstallAnywhere 用の同時接続ライセンスを管理するための、アップグレード用の同時接続ライセンス ファイル (.lic) を取得するには、以下の手順に従います:

1. **製品 & ライセンス センター** (<https://flexerasoftware.flexnetoperations.com/>) にサインインする。
2. **製品 & ライセンス センター** で、FlexNet Licensing Server をインストールする特定のマシン用のライセンス ファイルを取得します:
 - a. 左側のナビゲーション内で、[エンタイトルメント] の下にある [製品リスト] をクリックします。
[製品リスト] ページには、お客様のアカウントで使用できる製品ラインのすべてが表示されます。複数の製品へのアクセスがない場合は、[製品リスト] リンクをクリックすると、[製品情報] ページが直接開きます。
 - b. [製品リスト] ページに複数の製品が表示された場合、InstallAnywhere リンクをクリックします。[製品情報] ページが開きます。
 - c. 構成を行う製品バージョンの [ライセンス] リンクをクリックします。[ライセンス情報] ページが開きます。このページには、製品の使用中および未使用のライセンスについての詳細が表示されます。通常、このページの詳細には使用可能なライセンスが存在しないことを示します。これは、アップグレード同時接続ライセンスは追加ライセンスを提供しないためです。アップグレード同時接続ライセンスは、既存のライセンスをアップグレードします。
 - d. アップグレードするライセンスを見つけて、[アップグレード] ボタンをクリックします。[ライセンスの表示] ページが開きます。アップグレード ライセンスのご利用が不可能な場合、[アップグレード] ボタンは表示されません。
 - e. [すべて保存] ボタンをクリックします。製品 & ライセンス センターに、ライセンス ファイルをダウンロードする場所を指定できるダイアログ ボックスが表示されます。
 - f. FlexNet Licensing Server マシンからアクセス可能な場所を指定します。製品 & ライセンス センターによって、指定された場所に .lic ファイル (複数可) がダウンロードされます。このファイル名は *HostID.lic* で、*HostID* 部分には、.lic ファイルを取得したときに指定したホスト ID が入ります。管理し易くするために、このファイル名を変更することもできます。

同時接続ライセンス ファイルを取得した後、FlexNet Licensing Server にこれを追加します。手順については、「[FlexNet Licensing Server に同時接続ライセンス ファイルを追加する](#)」を参照してください。

FlexNet Licensing Server に同時接続ライセンス ファイルを追加する

同時接続ライセンス ファイルを FlexNet Licensing Server に追加する手順は、Imadmin または Imgrd のどちらを使用するかによって異なります。詳細については、適切なセクションを参照してください：

- FlexNet Licensing Server で License Server Manager (Imadmin) を使用して同時接続ライセンスをインポートおよび関連タスクを実行する
- FlexNet Licensing Server 上のライセンス サーバー マネージャー (Imgrd) を使って同時接続ライセンスを選択する

FlexNet Licensing Server で License Server Manager (Imadmin) を使用して同時接続ライセンスをインポートおよび関連タスクを実行する

FlexNet Licensing Server ソフトウェアには、ライセンス サーバー マネージャー (Imadmin) が含まれています。ライセンス サーバー マネージャーでは、Web ベースのユーザー インターフェイスを使って、以下のタスクを行うことができます：

- フレクセラ・ソフトウェア製品用に既存する同時接続ライセンスをインポートする。
- すべてのサーバー構成、およびほとんどの管理機能を実行する。
- ユーザーの追加と削除、およびユーザーの権限を構成する。

Imadmin の使用方法についての詳細は、このサイトの右上にある [ヘルプ] ボタンをクリックして表示されるドキュメントを参照してください。

Imadmin の起動

FlexNet Licensing Server が搭載されているマシンを使用しているか、組織内の別のマシンを使用しているかに関わらず、Imadmin を起動してサインインすることができます。



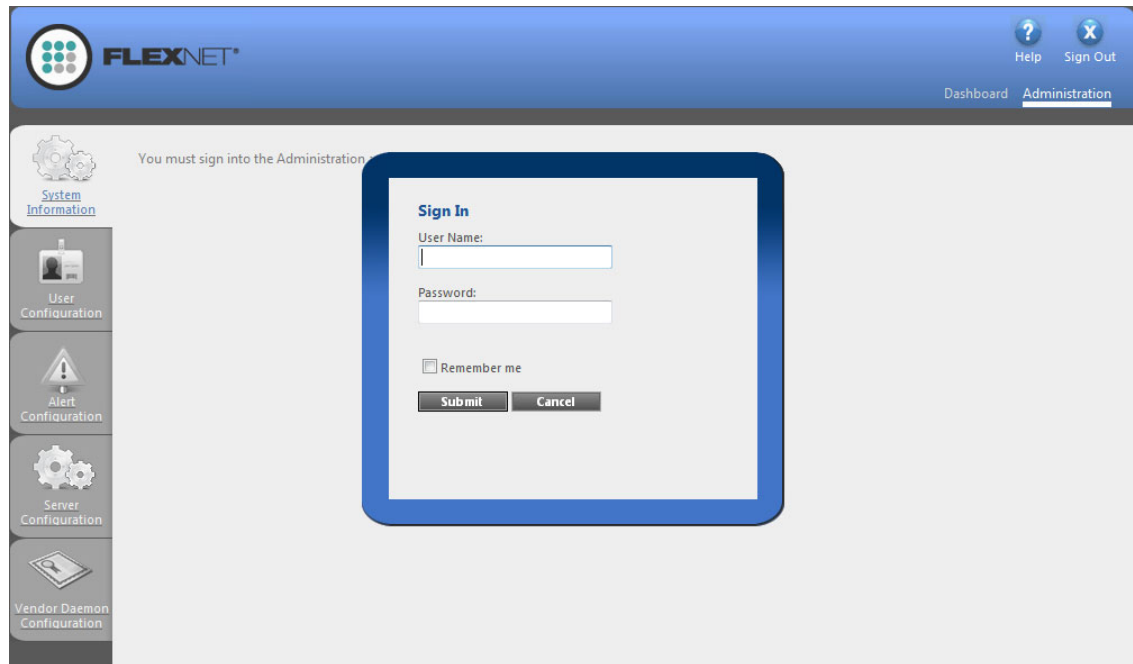
Task: *Imadmin を起動するには、以下の手順に従います：*

1. Web ブラウザーを開いて、以下のいずれかを行います：
 - FlexNet Licensing Server が搭載されているマシンを使用している場合、以下のサイトにアクセスします：
`http://localhost:Port`

Port は、Web サーバーをホストするために使用される HTTP ポート番号です。これは、FlexNet Licensing Server ソフトウェアのインストール時に構成されます。デフォルトのポート番号は、8080 です。
 - FlexNet Licensing Server が搭載されているのとは異なるマシンを使用する場合は、以下のサイトにアクセスします：
`http://MachineName.Port`

MachineName は、FlexNet Licensing Server ソフトウェアが搭載されたマシンの名前です。ポートは Web サーバーをホストするために使用する HTTP ポートです。デフォルトのポート番号は、8080 です。

2. サイトの右上にある [管理] リンクをクリックします。サイトで [サインイン] ページが表示されます。



3. サインインします。デフォルトのサインイン情報は、以下の通りです。これらの認証情報を使って初めてサインインしたとき、Imadmin はパスワードの変更をプロンプトします。

- ・ ユーザー名 : admin
- ・ パスワード : admin



Tip・ FlexNet Licensing Server がサービスとして構成されている場合、Windows サービスを使って FlexNet Licensing Server サービスを開始することが出来ます。FlexNet Licensing Server がサービスとして構成されていない場合、Imadmin.exe を実行して開始できます。ユーザーがライセンスをチェックアウトおよびチェックインできるようにするためには、FlexNet Licensing Server を開始しなくてはなりません。

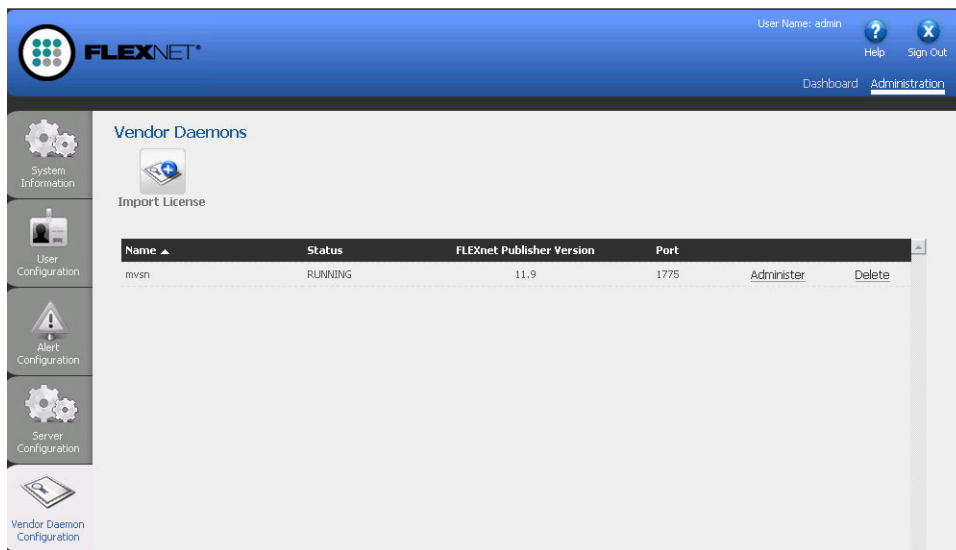
mvsn ベンダー デーモンを設定してライセンス ファイルを Imadmin にインポートする

Imadmin の [Vendor Daemon Configuration] ページでは、ベンダー デーモンのライセンス ファイルをインポートすることができます。ライセンス ファイルをコピーする前に、以下の手順に従って mvsn ベンダー デーモンを適切な場所にダウンロードします。InstallAnywhere を例として、フレクセラ・ソフトウェアの FlexEnabled 製品を実行するためには mvsn ベンダー デーモンが必要です。

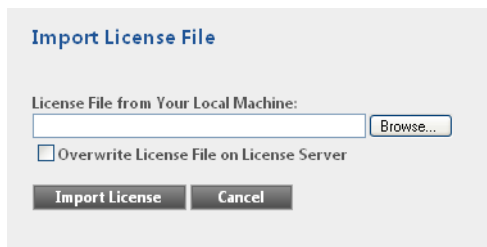


Task: *mvsn* ベンダー デーモンを設定して、ライセンス ファイルをインポートするには、以下の手順に従います：

1. FlexNet Licensing Server のオペレーティング システムに適切な mvsn ベンダー デーモンをダウンロードしてください。まだ取得していない場合は、FlexNet Licensing Server ソフトウェア インストールによって Imadmin.exe ファイルがインストールされたフォルダーと同じ場所に mvsn ベンダー デーモンをコピーします。
mvsn ベンダー デーモンのダウンロード方法については、「[InstallAnywhere、サービスパック、その他のインストールをダウンロードする](#)」を参照してください。
2. [Administration] リンクをクリックしてから、[Vendor Daemon Configuration] タブをクリックします。



3. [Import License] ボタンをクリックします。[Import License File] ページが開きます。



4. 使用するライセンス ファイル (.lic) へのパスを指定するか、[Browse] ボタンをクリックして、そのファイルを参照します。

5. オプションで、[Overwrite License File on License Server (ライセンス サーバー上のライセンス ファイルを上書きする)] チェック ボックスを選択します。ライセンス サーバーのアップロード ディレクトリに同じ名前のライセンス ファイルが既存する場合、ライセンス サーバーは、そのファイルを上書きします。このオプションは、ライセンス サーバー マネージャーに新しいベンダー デーモンを追加するときが必要です。
6. [Import License] ボタンをクリックします。これが既存ベンダーのライセンス ファイルである場合、ライセンス サーバー マネージャーはそのファイルをライセンス サーバーの適切なディレクトリにコピーします。
7. 既存ベンダーのライセンス ファイルをインポートするときに、[Overwrite License File on License Server] チェック ボックスをクリアした場合、ベンダー デーモンを停止および開始する必要があります。新しいライセンス ファイルが読み込まれて、ベンダー デーモンが開始したときに、ライセンス ファイルに含まれるライセンスがロードされます。

既存ベンダーのライセンス ファイルをインポートして、[Overwrite License File on License Server] チェック ボックスを選択した場合、ベンダー デーモンによって自動的に更新されたライセンス ファイルが読み込まれます。この再読み込み処理が完了次第、ユーザーは任意の新しいライセンスを使用し始めることができます。新しいライセンスは、[Dashboard] にも表示されます。

新しいベンダー用のライセンス ファイルをインポートすると、ライセンス サーバー マネージャーが、ライセンス サーバー構成ファイルにベンダー デーモン情報を追加して、ライセンス サーバーがこれを管理できるようにします。ライセンス サーバー マネージャーが、ライセンス サーバーの適切なディレクトリにファイルをコピーします。

ベンダー デーモンの管理

Imadmin の [Vendor Daemon Configuration] ページでは、ベンダー デーモンを停止、開始、およびベンダー デーモンのライセンス ファイルを再読み込みすることができます。



Task: ベンダー デーモンを管理するには、以下の手順に従います:

1. [Administration] リンクをクリックしてから、[Vendor Daemon Configuration] タブをクリックします。

The screenshot shows the FLEXNET Administration interface. The top navigation bar includes the FLEXNET logo, user information (User Name: admin), and links for Help and Sign Out. The main content area is titled "Vendor Daemons" and features an "Import License" button. Below this is a table listing the status of various daemons.

Name	Status	FLEXnet Publisher Version	Port	Administer	Delete
mvsn	RUNNING	11.9	1775	Administer	Delete

- ベンダー デーモンの概要グリッドで、[Administer] ハイパーリンクをクリックすると、いくつかの設定が表示されます。

Vendor Daemon:mvsn

Vendor Daemon Port in Use: 1775

Vendor Daemon Actions

Report Log Name:

General Configuration

*License File or Directory

Vendor Daemon Location:

*Vendor Daemon Port:
 Use default port
 Use this port

*Restart Retries:

Enable Date-based Versions

Vendor Daemon Log

- 以下の設定を使って、必要なタスクを行います。
 - Vendor Daemon Port in Use** - この読み取り専用設定は、ベンダー デーモンが FlexEnabled アプリケーションと通信するために使用する TCP/IP ポート番号を表示します。
 - Stop** - このボタンは、ベンダー デーモンを停止しますが、Imadmin は実行中のままにします。ベンダー デーモンを停止すると、このボタンは [Start] に変更されます。
 - Start** - このボタンは、ベンダー デーモンを開始します。このボタンは、ベンダー デーモンが停止しているときに表示されます。ベンダー デーモンを開始すると、ベンダー デーモンがライセンス ファイルを読み込んで、ライセンス権利をメモリーにロードします。ベンダー デーモンを開始すると、このボタンは [Stop] に変更されます。
 - Reread License Files** - このボタンは、ライセンス ファイル、トラステッド ストレージ、および任意のベンダー デーモン オプション ファイルのコンテンツを再読み込みしてから、情報をメモリーにロードします。ベンダー デーモンの再開が必要ときに、License File または Directory 設定の値が変更されていない限り、[General Configuration] セクションの License File または Directory 設定で指定されたライセンス ファイルが読み込まれます。一般的に、ライセンス ファイルのコンテンツまたはオプション ファイルが編集された場合に、このボタンを使用します。

- **Report Log Name** - 現在のレポート ログを保存するファイルの名前を入力します。
- **Rotate Report Logs** - このボタンをクリックすると、FlexNet Licensing Server は既存のレポート ログの名前を Report Log Name 設定の名前に変更して、オプション ファイルに含まれる名前を使って、新しい空白のレポート ログ ファイルを作成します。この機能を使用するには、オプション ファイルを使って、レポート ログ機能を有効化しなくてはなりません。

サーバーが実行中であることをテストするには、FlexNet Licensing Server インストールを実行するマシン上で Web ブラウザーを開いてから、次の URL に移動します (*PortNumber* には、適切なポート番号を挿入します):

<http://localhost:PortNumber/>

また、別のマシンからは、次の URL を使ってこのポータルにアクセスすることができます。このサイトにアクセスするためには、使用中のマシンのファイアウォール設定の変更が必要な場合もあります。

<http://MachineName:PortNumber/>

MachineName は、FlexNet Licensing Server ソフトウェアが搭載されたマシンの名前です。 *PortNumber* は、インストール中に入力したポート番号です。デフォルトのポート番号は 8080 です。



Important ・ 多くの組織では、同時接続ライセンスを管理するために FlexNet Licensing Server を設定する担当者と、InstallAnywhere をインストールならびに使用するユーザーとが異なります。その場合、InstallAnywhere のユーザーに、InstallAnywhere をインストールして FlexNet Licensing Server に接続するときに必要な以下の情報を通知してください:

- FlexNet Licensing Server ソフトウェアがインストールされているサーバーの名前または IP アドレス
- [起動構成] ダイアログに入力したライセンス サーバー ポート番号。(ほとんどの場合、この値は空白です。この設定を空白のままにした場合、InstallAnywhere のユーザーに対して、InstallAnywhere インストールの “ポート番号” 設定を空白のままに残すように指示してください。)

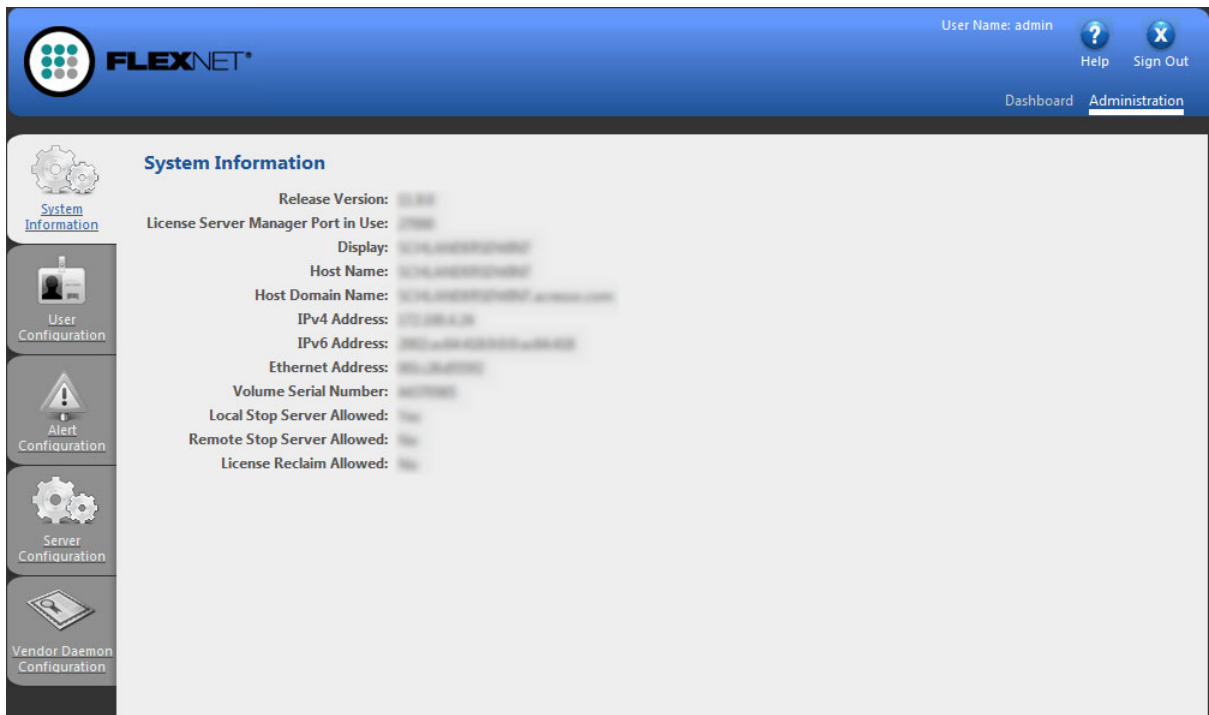
FlexNet Licensing Server のシステム情報を参照する

License Server Manager (lmadmin) は、FlexNet Licensing Server についての情報および FlexNet Licensing Server ソフトウェアを実行中のシステムについての情報を表示します。



Task: *lmadmin* でシステム情報を表示するには、以下の手順に従います：

[Administration] リンクをクリックしてから、[System Information] タブをクリックします。



[System Information] タブには、以下の情報が表示されます：

- **Release Version** – FlexNet Licensing Server のリリースバージョン。
- **License Server Manager Port in Use** – lmadmin が接続を待ち受け (listen) するのに使用するポート番号。ポート番号を構成するには、[Server Configuration] タブを使用します。
- **Display** – Windows ベースのシステムで、これはシステム名またはターミナル サーバー環境ではターミナル サーバー クライアントの名前です。UNIX ベースのシステムで、これは X ディスプレイの名前、または ttyname() 関数 (または同様の関数) によって返された値です。
- **Host Name** – FlexNet Licensing Server を実行中のシステムのホスト名 (例、prod01)。
- **Host Domain Name** – ライセンス サーバーを実行中のドメイン上にあるシステムの完全修飾ホスト名 (例、prod01.flexerasoftware.com)。
- **IPv4 Address** – システムを識別するのに使用される IP バージョン 4 アドレス (例、255.255.255.255)。IPv4 アドレスは、システムで IPv4 が有効な場合にのみ表示されます。

- **IPv6 Address** – システムを識別するのに使用される IP バージョン 6 アドレス (例、ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff)。IPv6 アドレスは、システムで IPv6 が有効な場合にのみ表示されます。
- **Ethernet Address** – FlexNet Licensing Server ソフトウェアを実行中のシステムを識別する、マシンの ホスト ID (マシンの MAC アドレスで、物理アドレスとも呼ばれます)。
- **Volume Serial Number** – ライセンス サーバーを実行中のシステムを識別するハード ディスク シリアル番号。
- **Local Stop Server Allowed** – FlexNet Licensing Server を実行中のマシン (ローカル マシン) で実行している lmdown ユーティリティを使って、またはライセンス サーバー管理インターフェイスから FlexNet Licensing Server を停止できるかどうかを示します。この設定を構成するには、lmdadmin を実行するときに -allowStopServer コマンドライン パラメーターを使用します。

- **Remote Stop Server Allowed** – FlexNet Licensing Server を停止できるかどうかを示します。

[No] を選択すると、lmdown またはライセンス サーバー管理インターフェイスを使って、リモート マシンから FlexNet Licensing Server を停止することはできません。

[Yes] を選択すると、以下のいずれかの方法で FlexNet Licensing Server を停止できます：

- リモート マシン、つまり lmdadmin を実行中のマシン以外のマシンから lmdown を使用する。
- リモート マシン上で実行中のライセンス サーバー管理インターフェイスで [Stop Server] ボタンをクリックする。
- **License Reclaim Allowed** – lmdremove ユーティリティを使って、ユーザーからライセンスを回収できるかどうかを示します。この設定を構成するには、lmdadmin を実行するときに -allowLicenseReclaim コマンドライン パラメーターを使用します。

3 台の冗長サーバーを使ったライセンス サーバーを構成した場合、[System Information] タブの [Three-Server Redundancy Group Information] セクションに以下の情報が表示されます：

- **Quorum State** - クォーラムの状態。ライセンス サーバーが開始して、クォーラムを構成しようとしたとき、以下順番で状態が設定されます：
 - **None** – ライセンス サーバーは 3 冗長サーバーとして構成されていません。
 - **Initialize** – クォーラムの初期化中。
 - **Wait** – 初期化段階が完了しましたが、クォーラムがまだ確立されていません。
 - **Confirm** – FlexNet Licensing Server は、クォーラムが確立される前に、少なくとも 1 つ以上の別の FlexNet Licensing Server からの確認メッセージを待機しています。
 - **Up** – 少なくとも 2 つ以上のライセンス サーバーでクォーラムが確立されました。
- **Master** – マスターのホスト名。
- **Primary Is Master** – True または False のいずれかを示して、PRIMARY_IS_MASTER 属性がライセンス ファイルで定義されているかどうかを指定します。
- **Group Member Host** – ライセンス ファイルで構成されている 3 つのシステムのホスト名。
- **Port** – [Group Member Host] 列に表示される各システムのポート番号。
- **Status** – [Group Member Host] 列に表示される各システムの状態。各 FlexNet Licensing Server がクォーラムに参加すると、次のうちの 1 つの状態となります。

- **None** — FlexNet Licensing Server は、クォーラムのメンバーではありません。
- **Active** — FlexNet Licensing Server は、クォーラムのアクティブなメンバー。
- **Connected** — FlexNet Licensing Server は、クォーラムに接続中。
- **Connection Failed** — FlexNet Licensing Server は、別の FlexNet Licensing Server に接続しようとしたが、失敗しました。
- **In Process** — FlexNet Licensing Server は、別の FlexNet Licensing Server に接続してクォーラムを確立しようとしています。
- **Initialize** — FlexNet Licensing Server は、クォーラムの一部として初期化中。
- **Sent** — FlexNet Licensing Server は、クォーラム内の別の FlexNet Licensing Server にメッセージを送信しました。

FlexNet Licensing Server 上のライセンス サーバー マネージャー (lmgrd) を使って 同時接続ライセンスを選択する

FlexNet Licensing Server ソフトウェアには、コマンドライン ベースのライセンス サーバー マネージャー (lmgrd) が含まれています。ライセンス サーバー マネージャーを使って、フレクセラ・ソフトウェア製品の既存の同時接続ライセンス ファイルを指定するなどのタスクを行うことができます。新しいライセンス ファイルを指定する前に、以下の手順に従って mvsn ベンダー デーモンを適切な場所にコピーします。InstallAnywhere を例として、フレクセラ・ソフトウェアの FlexEnabled 製品を実行するためには mvsn ベンダー デーモンが必要です。



Task: *mvsn* ベンダー デーモンを設定して、同時接続ライセンス ファイルを指定するには、以下の手順に従います：

1. FlexNet Licensing Server のオペレーティング システムに適切な mvsn ベンダー デーモンをダウンロードしてください。まだ取得していない場合は、FlexNet Licensing Server ソフトウェア インストールによって lmgrd.exe ファイルがインストールされたフォルダーと同じ場所に mvsn ベンダー デーモンをコピーします。

mvsn ベンダー デーモンのダウンロード方法については、「[InstallAnywhere、サービスパック、その他のインストールをダウンロードする](#)」を参照してください。

2. 適切な場合、FlexNet Licensing Server を使って管理するその他の同時接続ライセンス ファイルと同じディレクトリに InstallAnywhere 同時接続ライセンス ファイル (.lic) をコピーします。
3. コマンドラインから lmgrd を起動します。Windows ベースのマシン上では、以下のコマンドラインを使用します：

```
lmgrd.exe -c PathToDirectoryOfLicenseFiles
```

Windows ベース以外のシステム上では、以下のコマンドラインを使用します：

```
lmgrd -c PathToDirectoryOfLicenseFiles
```

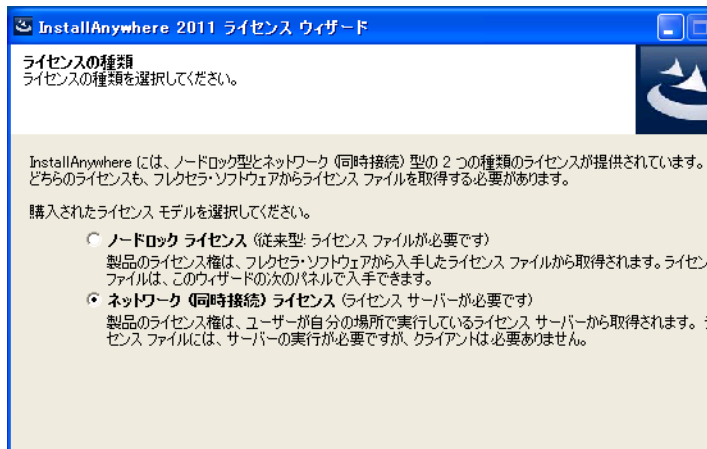

ユーザーのマシンをライセンス サーバーに接続して、または InstallAnywhere ライセンスのチェックイン / チェックアウトを行う

お客様の組織で InstallAnywhere の同時接続ライセンスをご購入された場合、まず組織内で FlexNet Licensing Server を設定する必要があります。FlexNet Licensing Server を設定した後、InstallAnywhere をインストールするマシン上で FlexNet Licensing Server を識別します。



Task: *InstallAnywhere の FlexNet Licensing Server を識別するには、以下の手順に従います:*

1. InstallAnywhere を起動します。製品が起動する前に、ライセンス ウィザードが開きます。
2. [ライセンス情報を指定する] オプションを選択してから、[次へ] ボタンをクリックします。
3. [ライセンスの種類] ダイアログで [ネットワーク ライセンス] オプションを選択します。



4. [ライセンス サーバーの指定] ダイアログに、ライセンス サーバーの名前または IP アドレスを入力します。お客様の環境で構成されている FlexNet Licensing Server がカスタム ポート番号を使用している場合は、そのポート番号を入力します。多くの場合、ポート番号は空白のままです。設定への入力が完了したら、[テスト接続] ボタン をクリックして、開発マシンが InstallAnywhere のライセンスをチェックアウトおよびチェックインできるかどうかを検証します。



5. インストールの残りのウィザード ダイアログを完了します。

ライセンス ウィザードは、マシン上で InstallAnywhere 同時接続ライセンスを設定します。



Note · InstallAnywhere 2008 Value Pack 1 用の同時接続ライセンスをチェックアウトしたマシン上で、InstallAnywhere の新しい同時接続ライセンスを使用できるようにするには、以下のアップデートをダウンロードしてクライアント マシンにインストールする必要があります：

[InstallAnywhere 2008 Value Pack 1 同時接続ライセンス アップデート](#)

(<http://saturn.installshield.com/product/ia/ia2008/concurrent/ia-2008-vp1-concurrent.zip>)

Build.exe にコマンドライン パラメーターを渡して FlexNet Licensing Server 情報を指定する

製品版の InstallAnywhere 製品または build.exe のライセンスを構成しないで build.exe を使ってインストールをビルドすると、build.exe は制限された日数の間、評価モードで実行し、評価版インストールを作成します。

コマンドラインを使って build.exe を起動するとき、以下のように build.exe に `-registerNodeLocked` パラメーターを渡して、ノードロック ライセンス情報を構成することができます。

```
build.exe -registerNodeLocked LicenseFilePathAndName
```

LicenseFilePathAndName は、ライセンス ファイル (.lic) のファイル名とパスを示します。

ノードロック ライセンス情報を指定した同じユーザー アカウントを使ってビルドを実行するときにはいつでもインストールをビルドすることができます。ライセンス情報は、InstallAnywhere 製品版のライセンス ウィザードを使って、または build.exe のコマンドラインを通して一度だけ指定する必要があります。

マシンのホスト ID を確認するには、以下のコマンドを使用してください：

```
build.exe -generateHostID
```

たとえばライセンスを別のマシンに移動する場合に、マシンからライセンス情報をクリアするには、以下のコマンドを使用します：

```
build.exe -unregister
```

